

## ◇ 令和6年度 指定管理者事業評価書

施設名	玉川まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,992,000円	151,194円	18,093,624円	効果的な予算執行が行われた	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
施設HPアドレス	http://hagi-tamagawa.jpn.org/		2年目	18,032,000円	186,892円	16,993,771円	コロナ禍で大きな事業の中止・縮小があつた。	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
指定管理者名	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議		3年目	18,212,468円	220,212円	17,533,300円	指定管理料に修繕費の追加措置分39,468円含む	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目	18,234,000円	240,269円	17,247,065円	効果的な予算執行が行われた	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る
評価対象期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		5年目	18,417,630円	356,413円	19,011,139円	指定管理料に修繕費の追加措置分8,630円含む。 特に利用者利便性向上サービスに努めた。	運営ガイドラインに基づきサービスの安定と良質な経営を図る

### ●総合評価の基準

5	★★★★★	評価基準のすべてが★★★以上で、かつ、最も多い評価が★★★★★である
4	★★★★	評価基準のすべてが★★★以上で、かつ、最も多い評価が★★★★である
3	★★★	評価基準の最も多い評価が★★★である
2	★★	評価基準の最も多い評価が★★である
1	★	評価基準に★が1以上ある

### ○その他の項目

公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	令和2年4月1日
施設の供用開始日	令和2年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	★★★★★	●市(施設所管課)の総合評価…	★★★★★
年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的に基づき、事業計画および予算の適切な執行について、地域の特質を勘案し、玉川の独自性を発揮した事業展開が行えるよう創意工夫を図り、利用者が安全・安心に利用できるよう万全を尽す。		仕様書の基準を遵守し、適切な施設運営に努められた。 また、LINEでの情報発信にも注力され、地域での活動を様々な人に知っていただくことができ、利用者のニーズを踏まえながら、地域の特色を活かした取組を実施されたことにより更なる地域住民の交流を図られた。 施設を活用した地域住民主体の多様な取組など、コミュニティの更なる醸成に期待したい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的に基づき、事業計画および予算の適切な執行に努めた。 利用者利便性向上サービスとして、デジタルサイネージの設置(視認性が高く利用者の目に入りやすい)、ホームページリニューアル(見やすく親しみやすいメイン画面、画像中心の視覚的・直感的なデザイン)を導入した。その結果、事業やセンターに関する問合せ数も増え、新規利用者の増加に繋がり、地域の活性化に寄与するに至った。		(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外ではなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないから、使用料制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。	
・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設の管理運営に関する業務			
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
評価項目1	上半期評価	センター条例第3条に掲げる事業を新たにいくつか実施することにより、昨年上半期と比較し、利用者数は増加。	上半期評価 仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。 利用者数や貸館件数が増加しており、今後も引き続き利用していただけるよう努められたい。
	☆☆☆☆☆	下半期評価 センター条例第3条に掲げる事業を下半期にも新たに実施することにより、昨年下半期と比較し、利用者数は増加した。 ロクハ荘改装に伴い、ロクハ荘で活動されていた団体が当センターを利用できるよう利用調整、マージャン卓の一時保管等の措置を行った。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書の基準を遵守し、デジタルサイネージで当日の貸館状況やセンター講座の案内、ロクハ荘利用者への案内・対応を行うなど円滑な貸館業務に努められた。 施設利用者数、貸館件数ともに前年対比で増加しており、今後も更なる増加を目指して、引き続き取組まれたい。

施設および備品の維持管理等			
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
評価項目2	上半期評価	仕様書に定める点検を実施するとともに、ハチの巣駆除を迅速に行うことで安全な施設管理に努めた。	上半期評価 仕様書等に定める基準を遵守しながら、事故なく安全な施設管理に努められた。利用者サービスの向上のため引き続き様々な取組を実施されることを期待する。 保守管理や備品管理、清掃、保安警備業務は定期的に実施され、特に清掃においては利用者の満足度も高く、施設管理が十分に行われている。
	☆☆☆☆☆	下半期評価 仕様書に定める点検を実施するとともに、安全な施設管理に努めた。樋のコケ除去作業、屋根の雑草除去作業、駐車場外灯修理、トイレ手洗器修理、小会議室エアコン取替工事、火災受信機電池交換などを実施した。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書に定める基準を遵守し、設備点検や清掃を行うことで、事故なく安全な施設管理を行われた。 保守管理や備品管理、清掃、保安警備業務は定期的に実施され、特に清掃・修理においては、利用者の満足度も高く、施設管理が十分に行われていると判断する。

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務			
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
評価項目3	上半期評価	恒例の「味噌作り」や「玉川一日留学」、「人権講座」、「夏のプラネタリウム体験」の他に、今年度新たに「男の料理教室」「小学生を対象にしたサマーミニキャンプ」、「ふななし漬込み体験」を実施。幅広い年齢層の方々に参加いただいた。	上半期評価 仕様書等に定められた基準を遵守し、地域のまちづくりの拠点として、住民主体の多様な施設活用を展開された。給茶機の利用など、地域のまちづくり拠点として施設活動を展開された。 LINEを活用した情報発信を行われ、あらゆる世代に対して、情報の共有化が図られている。
	☆☆☆☆☆	下半期評価 恒例の事業の他に、利用者アンケート等の結果を踏まえ、実施希望の多かった事業「練り切り教室」「おうち居酒屋」等を実施したことにより、地域が豊かになる学びの機会を増やすことができた。	下半期評価 仕様書の基準を遵守し、地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。また、デジタルサイネージやホームページ等を通して、積極的な情報発信を行われた。 アンケートを実施し、住民のニーズや利用者満足度の把握に努められた。 特に、健幸に関する取組は、地域の課題を解決するものであり、地域社会のニーズに応えた住みよい地域づくりの推進に寄与するものである。

組織の管理運営および提出物等にかかる業務			
指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
評価項目4	上半期評価	事業等は計画通りに実施。各種団体の活動や、大きなイベントも順調に進んでいる。	上半期評価 仕様書等に定められた基準を遵守し、職員の配置など適正な経営管理などに努められており、下半期も引き続き努められたい。 また、人権に対する理解を深めることを目的に視察を実施し、積極的に学ぶ姿勢が確認できた。
	☆☆☆☆☆	下半期評価 事業等は計画以上に実施。適宜、センターミーティングを開催し、職員の仕事内容や進捗具合を把握し、共有することにより、適切に業務を割り振ることができ、時間外勤務の減少につなげることができた。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修など適切な経営管理に努められた。また、利用者アンケートを実施し、求められるニーズを把握し、開かれたセンター運営に努められた。 経費削減のため、利用者が急激な温度設定(変化)をしないよう、事前に会議室の温度調整を行い、電力使用料の削減に向けた取組が行われている。